

佐賀県 公立高校の入試制度

【2022年度版】

選抜概要

- 佐賀県の公立高校入試は主に特別選抜と一般選抜があります。

	出願期間	志望変更	入試日	合格発表日
特別選抜	2/1(火)・2(水)	—	2/8(火)	2/15(火)
一般選抜	2/21(月)・22(火)	2/28(月)～3/2(水)	3/8(火)・9(水)	3/15(火)

- 出願は、原則1校（1学科，1競技・分野）に限ります。
一般選抜は2以上の学科を置く学校に出願する場合，当該学校が設置する学科について，第3志望まで記入することが出来ます。
- 普通科の学区は東部・西部の2つに分かれており，専門学科・総合学科は全県となります。

特別選抜

- 特別選抜は志願する当該学校・学科に対して適性があり，興味・関心がある，また，志願する明確な動機を有し，入学後もその分野で活動できる者が対象です。
選抜はいくつかの枠が設けられており，実施校・募集人員は以下のようになります。

- ・スポーツ推進指定校（競技実績枠）…22校，47指定運動部，292人
- ・スポーツ推進指定校（学校希望枠）…29校，74指定部活動，246人
- ・文化芸術推進指定校（教育課程枠）…3校，6分野，52人
- ・文化芸術推進指定校（学校希望枠）…18校，25分野，52人

- 選抜資料

①面接	配点は各学科により異なる（2022年度は10点～150点）
②調査書	「学習の記録」「学習の記録以外」に配点が分かれている
③実技検査	配点は各学科により異なる（2022年度は150点～300点）
④学力検査	国語・数学・英語の3教科（各25分・各50点）

- 上記に加え実績評価表，その他必要な書類を用い指定競技・分野ごとに総合的に審査します。ただし，学力検査・実技検査・実績評価表を合わせた評価の割合は全体の50%以上とします。実施項目や各学校の設定した配点，調査書で特に重視する項目等は，県の発表する選抜概要に詳細が掲載されています。

一般選抜①

●一般選抜全体の募集人員は、募集定員から特別選抜等の合格者数を差し引いた人数になります。

●選抜資料

①面接	配点は各学科により異なる
②調査書	「学習の記録」「学習の記録以外」に配点が分かれている
③実技検査	希望する学校のみ実施、配点は各学科により異なる
④学力検査	国語・数学・英語・理科・社会の5教科（各50分・各50点） 数学及び英語の追加問題（各15点）を実施することも可能 ※2022年度、追加問題は実施無し

一般選抜②

●選抜方法

上記の資料及びその他必要な書類を用い総合的に審査するのですが、その際、2つの異なる選考方法で審査を行います。選抜に用いる配点の中で「学力検査の評価の割合」をどの程度重視するかによって選抜を分けています。

- ・選考Ⅰ…「学力検査の評価の割合」を全体の評価のうちの50～70%に設定
- ・選考Ⅱ…「学力検査の評価の割合」を全体の評価のうちの70%程度に設定

先に選考Ⅰを行い、その後選考Ⅱを行います。選考Ⅰの募集人員は募集定員の10～30%の範囲で学校毎に決定され、選考Ⅱの募集人員は、募集定員から、特別推薦及び選考Ⅰ合格者を差し引いた人数となります。

- ・上記選抜資料の各配点は選考Ⅰ・Ⅱで異なる場合があります。
また、学力検査においては、選考Ⅰの際に傾斜配点を行う場合があります。

●特別推薦同様、実施項目や各学校の設定した配点、調査書で特に重視する項目等は、県の発表する選抜概要に詳細が掲載されています。

<巖木・太良高等学校の全県募集枠について>

不登校経験者、発達障害のある者、高校中途退学者を対象に、巖木高等学校及び太良高等学校で募集をしています。選抜の日程や内容はほぼ一般選抜と同様ですが、選考Ⅰ・Ⅱの区別は行わず、学力審査は傾斜配点とし、面接を重視した評価をします。